



おうめ 1 1 9

防災おうめ 秋・特別号

秋の火災予防運動

令和7年11月9日(日)~11月15日(土)

トピック1 STOP! 住宅火災~いま、備えよう~

トピック2 山火事・林野火災対策にご協力をお願いします!!

トピック3 リチウムイオン電池搭載製品からの火災に注意!!

トピック4 その電話、本当に「救急」ですか?

令和7年度東京消防庁火災予防標語

目で確認 声出し確認 火の用心

いわさき くるみ

作者 岩崎 公瑠美さん (清瀬市在学)

東京消防庁 青梅消防署

発行: 青梅防火防災協会 青梅危険物安全会 青梅防火管理者研究会 青梅山林災害対策協議会



STOP! 住宅火災 ～いま、備えよう～

火災による死者の9割は、住宅火災で発生しています!!

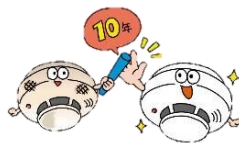
東京消防庁管内では、令和6年中は住宅火災による死者が**82人**発生しており、令和7年中は既に**51人**が火災で亡くなっています。(令和7年9月30日現在、速報値)

冬季は、暖房器具を使用する機会が増え、空気が乾燥することで火災が発生しやすくなることから、特に注意が必要です。主な出火原因は、**たばこ、ストーブ、こんろ**です。

火災からあなたを守る
2つの道具を紹介!

住宅用火災警報器

煙や熱を感知し、音声や警報音で火災の発生を知らせるものです。警報器が設置されている場合は、**死者数**が火災100件あたり、**3分の1**以下に抑えられています。(令和5年中)
故障や電池切れでは火災を感知しません。
設置後10年を目安に交換しましょう。



消火器

万が一、火災が発生しても、消火器を使用した場合は、**約8割**が**被害軽減**につながっています。防災訓練に参加して定期的に使い方を確認しましょう。

住宅防火10の心得

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1 調理中は、 こんろ から離れないようにしましょう。 | 6 コンセントの掃除を心掛けましょう。 |
| 2 寝たばこは、絶対にやめましょう。 | 7 住宅用火災警報器を全ての居室・台所・階段に設置し、定期的な作動確認をしましょう。 |
| 3 ストーブの周りに、物を置かないようにしましょう。 | 8 寝具類やエプロン・カーテンなどは、防災品にしましょう。 |
| 4 家の周りを整理整頓しましょう。 | 9 万が一に備え、消火器を設置し使い方を覚えましょう。 |
| 5 ライターやマッチを子供の手の届く場所に置かないようにしましょう。 | 10 ご近所同士で声をかけあい火の用心に心掛けましょう。 |

消火器の使い方

- ① 安全ピンを引き抜く
- ② ホースを持ち火元に向ける
- ③ レバーを握る



山火事・林野火災対策にご協力をお願いします!!

青梅消防署の管轄地域(青梅市内)のおよそ3分の2は、山岳や丘陵に占められ、代表的なものとして御岳山や高水三山(高水山、岩茸石山、惣岳山)があります。

山火事の発生要因でもっとも多い割合を占めるのは、「**たき火**」で、次に「**火入れ(野焼きなど)**」です。かけがえのない森林を守るため、下記のポイントに注意して山火事・林野火災対策にご協力をお願いします。

山林での火災を起こさないためのポイント

- ① 空気が乾燥する時期は火の取り扱いに十分気を付ける。
- ② 枯草等がある火災の発生しやすい場所ではたき火をしない。
- ③ 強い風が吹いている時は、たき火や火入れをしない。
- ④ たばこのポイ捨てはせず、火の始末を必ず確認する。



一般ごみや落ち葉、剪定枝などの野外焼却(野焼きなど)は、原則として法律・条例で禁止されています。自治体が指定する方法で廃棄してください。

リチウムイオン電池搭載製品からの火災に注意!!

モバイルバッテリーや電子タバコなどの**充電式製品(リチウムイオン電池搭載製品)**を落下させたことにより、破損や膨張などの変形が見られる製品や、充電中や使用中に高温になる製品を使い続けると、**発熱・発火**して、**火災の原因**になるおそれがあります。

また、一般ゴミに混ぜて廃棄した場合に、ゴミ収集車やゴミ処理施設において破砕される衝撃で発火し、火災に至るケースもあります。令和6年に、茨城県のゴミ処理施設で、小型充電式電池が原因とされる火災が発生し、施設の復旧や施設の稼働停止期間中のゴミ処理を外部に委託していた費用として、およそ40億円もの費用がかかったといわれています。

東京消防庁管内における発生状況

令和5年

167件

令和6年

230件
(速報値)

身近な出火原因として近年増えてきています！



可燃ごみ収集中、ゴミ袋から煙発生!!

ゴミ袋からバッテリー!?



危険

充電式製品に破損、膨張、高温などの症状が現れた際は使用を中止しましょう。

青梅市での処分方法は??

青梅市では、令和7年4月1日から小型充電式電池(リチウムイオン電池・ニッケルカドニウム・ニッケル水素電池・モバイルバッテリー)を有害ゴミとして出せるようになりました。

青梅市での廃棄方法には一定のルールがあります。

- ① **有害ゴミの収集日に透明または半透明の袋に入れて、口を縛って出す。**
- ② **電気を放電し、電極部分にセロハンテープ等を貼り、絶縁した状態にする。**

詳しくは、青梅市ホームページ「小型充電式電池の出し方」等を参照してください。

小型充電式電池による火災予防のため、適切な使用方法や廃棄方法にご協力をお願いします。



その電話、 本当に 「救急」ですか？

— あなたの判断で救える命があります —

緊急性がある場合には、ためらわずに救急車を利用してください。

令和6年中の東京消防庁救急隊の出動件数は、**935,373件**で、令和4年から3年連続で過去最多を更新しました。例年、夏季及び冬季に出動が多い傾向があります。

救急車の要請が増加し、現場付近の救急隊がすべて出動した場合に、遠く離れた場所から救急隊が現場に駆け付けることがあります。

救急隊が出動してから現場に到着するまでの平均所要時間は**8分59秒**(令和6年平均)ですが、それ以上に時間を要する場合があります。

本当に救急車が必要な人のために、適時・適切な救急車の利用をお願いします。

サクサク簡単！

ネットでガイド
東京版 救急受診ガイド

救急受診ガイド 検索

インターネットで、病気やけがの緊急度、受診する時期、受診する科目などを確認できます。

質問に答えるだけの簡単スピーディ！

東京版 救急受診ガイド
QRコード読み込みは**コチラ**から



スマートフォン用

【公式アプリのご案内】

消防署が開催するイベントなどのお知らせを確認できるほか、応急手当方法や防災について学べるコンテンツが充実！

※アプリ経由での救急相談も可能です。

**東京消防庁
公式アプリ**



ダウンロードはこちら！



iOS版



アンドロイド版



東京消防庁ホームページ <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

青梅消防署ホームページ <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/fs/oume/index.html>

青梅消防署 0428-22-0119 日向和田出張所 0428-24-0119 長淵出張所 0428-21-0119